

明るい家庭づくり運動を進めます! 白石市青少年健全育成・非行防止推進大会

中央公民館の大ホールで7月4日、白石市青少年育成・非行防止推進大会が開催され、約300人の皆さんが出席しました。

今年の大会では、毎月第3日曜日を「家庭の日」として制定し、家庭の大切さをあらためて考える日とする宣言文が読み上げられました。制定を記念して、大和町立吉岡小学校長の笠松洋子先生が「早寝早起き朝ごはん」+「テレビを消して外遊び」と題して講演。子どもの発達には、規則正しい生活の中で十分な睡眠と栄養を取ることが必要であると、家庭生活の大切さを呼び掛けました。



▲笠松洋子先生の講演の様子

みんな早く元気になってね! 公立刈田総合病院「第30回ロビーコンサート」



▲ドナルドの楽しいショーに会場は笑い声でいっぱい!

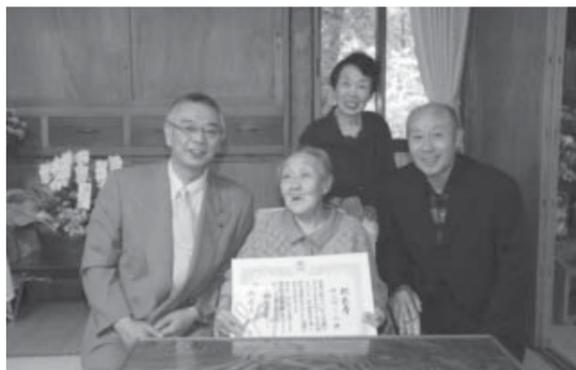
6月24日、公立刈田総合病院ロビーで、第30回ロビーコンサートが開催されました。

今回のコンサートは、昨年9月に続いて2回目となる「ドナルド・マクドナルド」によるショー。会場には、入院している患者さんなどたくさんの皆さんが集まりました。日本マクドナルドの4号線白石店と大河原店から8人のスタッフがドナルドをお手伝い。コンサート前には、入院している子どもやお年寄りなど20人の病室を訪問して、「早く元気になってね」と優しく声を掛けながら、ポケットショーなどで楽しませていました。

元気に100歳を迎えました 佐久間きぬさんに祝詞と松竹梅敬老祝金を贈呈

7月9日、小原地区にお住まいの佐久間きぬさんを風間市長が訪ね、満100歳を迎えたきぬさんに祝詞と松竹梅敬老祝金を贈りご長寿を祝福しました。

きぬさんは大鷹沢のご出身で、結婚後は5人の子育てに奮闘の日々を送られました。現在は孫が8人、ひ孫が12人います。足が不自由となりなかなか出歩けなくなりましたが、テレビで時代劇を見るのが好きとのこと。戦後は自分の食事を後回しにして子どもたちに与えていました。「それに比べれば今はお殿さまの気分だよ」と笑顔で話してくれました。



▲風間市長やご家族と一緒に100歳を祝いました。

ホテルの住める環境づくりを目指して 尾篋地区でホテルまつりを開催



▲開会式でのよさこい走乱白石城の踊りを楽しむ来場者

6月27日・28日の2日間、福岡蔵本の尾篋地区で「ホテルまつり」が開催されました。今年で7回目を数えるこのまつりは、白石薬師堂ホテルの里を守る会(半澤勇三郎会長)と白石温泉薬師の湯(佐藤孝一理事長)が共催で行っています。27日の開会式会場となった薬師の湯には、ホテルの光を一目見ようと市内外から200人を超える人が集まりました。来場者は、よさこい走乱白石城の皆さんによる踊りを楽しんだ後、尾篋地区のサロン・サンサンで皆さんが作成したきれいな七夕と花灯路に沿って、ホテルの幻想的な光を楽しんでいました。

世代を超えて楽しみながらも真剣勝負! 第7回市民シャフルボード大会

6月21日、中央公民館を会場に「第7回市民シャフルボード大会」が開催され、小学生から大人まで24チーム48人が熱戦を繰り広げました。小学生の部3ブロックと大人の部の合計4ブロックに分かれて予選を行い、各ブロックの1位のみが決勝トーナメントに進出できるという厳しい戦い。準決勝では、白石第二小学校の佐藤蘭さん・遠藤紗奈さんの小学生ペアが、大人の部を勝ち上がった中学生ペアを破り決勝進出。決勝では、同じ白石第二小学校の佐竹優真くん・佐久間廉くんの小学生ペアが、見事優勝を果たしました。



▲シュート1本1本が手に汗握る接戦となった決勝戦

花を育てること・思いやりの心を育てること 平成21年度人権啓発花いっぱい活動スタート



▲真剣な表情で種をまく児童

花の世話を通じて、命の大切さ・思いやりの心を学んでほしい。そんな思いを込めた「平成21年度人権啓発花いっぱい活動」のスタートとなる種まき作業が、6月18日、大平小学校(立田基生校長)で行われました。作業の後、同小緑化委員会の大野美幸さん(6年)が「花を大切に育てることを通じて、みんなが優しくなるように頑張ります」と元気にあいさつしました。昨年は市内の保育園などで行われたこの活動は、今年は市内10の小中学校で実施しています。児童たちが大切に育てたサルビアなどの花々は、9月中旬に白石駅などに飾る予定です。

気分は片倉小十郎公! 小原中学校の生徒が甲冑着用体験



▲白石城の前でポーズを決める小原中学校の生徒たち

6月19日、社会科授業の一環として郷土の歴史や文化財を学習しようと、小原中学校(佐藤博校長)の生徒24人が白石城を訪れました。生徒たちは歴史探訪ミュージアムを見学した後、片倉鉄砲隊長の大宮宗雄さんの指導で、3年生7人と先生2人が代表して甲冑着用にも臨みました。重さ13キログラムの甲冑に、初めは「暑い」「重い」などの声が聞かれたり、「戦国時代は皆さんの年齢の時には初陣を飾っていた」という大宮さんの話に驚いたりしていましたが、実際に甲冑を着て歩く姿は、着る前とはどこか違う少し大人びて見えました。

普段の仕事を生かした見事な連携プレー 消火活動協力者表彰

6月23日、消火活動に協力した功績をたたえ、福岡八宮地区に営業所を置く北桜造園有限会社蔵王営業所(佐々木忠法所長)に表彰状が贈られました。乾燥注意報が発令されていた5月13日午後、池田記念墓地公園の造園管理を行っていた佐々木所長を含む11人の従業員は、近くの空き家などから煙や火柱が出ているのを発見。すぐさま119番通報するとともに、消火栓やホースを利用して消火に当たりました。造園作業で培った技術と毎年行う消火訓練の成果から、息の合った連携プレーで被害を最小限に食い止めることができました。



▲八島白石消防署長から佐々木所長に表彰状が贈られました。